

平成27年12月17日

日南町長 増原 聡 様

日南町行政改革推進委員会  
会長 田辺 隆則

## 行政改革の推進について

平成27年7月8日付けで貴職から本委員会に諮問を受けた「日南町コンパクト・ビレッジ構想を生かした町全体の発展について」について下記のとおり答申します。

### 記

#### 1. はじめに

日南町が選択したコンパクト・ビレッジ構想。大切なことは包括的な事業の本旨が地域住民にどれだけ理解されているのかにあり、それらが住民の具体的な事業活動にどう結びついていくのかにかかっている。

まずは関わる人材をどう確保し、続いて継続的にモノとカネをどう確保していくのか。そしてこれらは、新規参入業者を含めたゾーン全体の営業活動を含めた計画実行でなければならない。総体的に、構想事業全体をハード事業というとはえず、ソフト事業推進を重視する思考に立ってほしい。ここに行政の覚悟と手腕が問われている。

このほか本行政改革推進委員会の設置条例の設置趣旨には「社会情勢の変化に対応した簡素にして効率的な実現を推進するため」設置したとある。この観点に立った、委員会からの指摘についても答申することとした。

#### 2. 提言

(1) 町民はこの事業に対する行政の本気度を問うている。そこを意識した広聴を含めた広報を目指してほしい

提言①：事業の全体像や理念を町民が理解でき、具体的な参画に繋がる広報・広聴の仕組みを工夫してほしい。

「構想の全体像（完成後のビジョン）や理念が住民に十分理解されていないため、構想に対して住民の積極的な参画が得られていないのではないかと。町内の様々な会合や組織へ出向いて広報・広聴をするなど、待ちの姿勢から打って出る行政の姿をみせてほしい。本事業によらず広報のあり方を再考してほしい。」

提言②：コンパクト・ビレッジ構想関連のみならず、日南町ホームページの内容を充実してほしい。

「今後は道の駅を含め日南町を積極的にPRしていく必要があるが、町内外の多くの方が閲覧している町ホームページは必要な情報が探しづらく、更新もなかなかされていない状況である。」

提言③：情報発信ツールに精通した職員を育成または雇用し、できれば専従させるなどの措置をとるべきではないか。

(2) 交通弱者の細かなニーズに応えられる公共交通網と補完施設を整備してほしい

提言①：自家用車等自分での移動手段を持たない人の視点から、JR、路線バス、巡回バス、町内各施設が連携して利用しやすいネットワークを構築してほしい。また、各種イベントや学校行事への配慮も忘れないでほしい。

提言②：バス待ちの時間に使える学習スペースや休憩場所を設けてほしい。

「中心地域は児童や学生、高齢者や障がいのある人等にとっても便利なものであってほしい。a) 交通弱者が外出時に時間を有効利用できること、b) 高齢者や障がい者などの社会参加の機会が増加すること、c) 働く世代の就業時間中に家族を送迎する負担が軽減すること、の実現を目指した公共交通網と補完施設の整備が必要である。」

(3) 中心地域をコミュニケーション活性化の拠点にしよう

提言①：あいさつの飛び交う道の駅運動を展開しよう。

「子供のあいさつが課題となっている。あいさつはコミュニケーションの基本である。大人が手本を示すべく、あいさつの飛び交う道の駅・中心地域づくりを目標にしよう。」

提言②：中心地域に町民のコミュニケーションの「場」を確保してほしい。

- ア) スナック、飲み屋等「大人の社交場」の誘致または公設してほしい。
- イ) 中心地域に限らず住民が自らの手で行っている「ささやかな集まりの場」作りへ、仕組み作りも含めて支援を拡充してほしい。
- ウ) 体力や健康増進に資するようなトレーニング施設を設置してほしい。

「若年層から高齢者層まで、同世代間、世代間で情報交換する場が少なくなってしまうことが、コミュニケーションを希薄化させる一因になっているのではないか。

働く世代は、職場と家を毎日直行直帰の状況になっているのは、仕事が終わった後にお茶やお酒を飲むところが町内に少ないためである。また、可処分所得の多い中高齢者をカラオケで誘い出すことで、地元へお金が落ちる仕組みも作れる。

昼は子供と中高年、夜は勤労者が利用できるトレーニング施設の設置は町民の体力増進と健康維持に役立つだけでなく、コミュニケーションも活性化させる。」

提言③：道の駅を拠点に「花いっぱい運動」を展開しよう。

「花を育てるプロセスで明るい会話が生まれるなど、花はコミュニケーションを活性化させる。道の駅を拠点にして花いっぱい運動を全町に普及させ

る。華やかな道の駅から花いっぱいの日南町の家庭へ。」

(4) 子供の力をまちづくりに活かす

提言①：児童、生徒、学生の段階から積極的にまちづくりに参画してもらおう。

「将来の日南町を担うのは、今の子供たちである。子供が地域行事に参加する土壌・風土を作るなど、積極的にまちづくりに参画してもらうことで、日南町との結びつきを維持し、郷土愛が芽生えることを期待したい。」

(5) 米子にはない「何か」を道の駅に！

提言①：道の駅「にちなん」にしかない機能と利便を創ろう。

「中国地方には先輩として特徴を持った多くの道の駅がある。それらに劣ってはいけない。中国地方回遊族と称される岡山・広島の沿海都市からの中高齢者に愛される道の駅を。」

3. 日南町行政改革推進委員会設置条例の設置趣旨に沿ったその他の提言

提言①：日南町図書館に学習室を設置してはどうか。

「成人の読書習慣の喚起。家庭だけではなかなか読書習慣は確立できない。中学生や高校生の中心地域滞留時間の有効活用場所として、図書館における学習スペースとしての存在価値を再現してはどうだろうか。提言2.(2)も参照のこと」

提言②日南町役場の事務処理の決まり事について再考を願いたい。

- ア) 招集される会議等の開催通知の発信時期について
- イ) 会議等への出席者に対する費用弁償のシステムについて